

国経研だより

神奈川大学 国際経営研究所
〒259-1293 平塚市土屋 2946
神奈川大学湘南ひらつかキャンパス
TEL 0463-59-4111 (内線 2200)

所感：伝える役割を担って

行 川 一 郎

この3月に定年を迎えられた前所長の海老澤栄一名誉教授を引き継いで、国際経営研究所のマネジメントを担当することになりました。

国際経営研究所の創立は1986年10月。当初、学校法人神奈川大学国際経営研究所として設置され、丁度わたしが神奈川大学に赴任した1993年4月に法人組織から神奈川大学組織へと移行したとのこと。縁を感じずにはられません。

よく国際経営研究所は経営学部のランチと混同されますが別組織です。神奈川大学には7学部、9研究科があり、さらに8研究機関を擁していますが、他にも実に多くの教育研究の関連組織があり、学生そして広く社会一般に対する活動を行っています。当研究所の略称は国経研ですが、その呼び名で「ああそこ」とわかる相手は兎も角、わからない場合の説明はなかなかやっかいです。そもそも研究所とは何ぞやという疑問が湧く人も少なからずいるでしょう。大学1年生の入門ゼミ「FYS」で池上彰の『伝える力』を授業で使っていますが、相手にわかるように伝えることの難しさについて学生ともども話し合っています。

国際経営研究所の所在地は平塚市。仕事柄、平塚さえ知らない人もよくお会いしますが、平塚市の広さ(67.83k㎡)は山手線の内周(約65k㎡)より大きい、とか八丈島(69.52k㎡)くらいなどと話します。一番イメージしやすいのは「東京で一番大きい区(大田区：約60k㎡)より一回り以上も平塚市は広い」というたとえ方のようなのですが、わかると後は簡単。コミュニケーションが繋がると相手とは確実に緊密になれ、「伝える — 知る — つながる」という図式が実現する訳です。

およそ研究所というと調査分析やコンサルタントを主たる業務とする独立機関から、企業や公共

団体、政府自治体、教育機関の附置機関としての研究所まで規模も形態も様々です。また、本大学では最近注目されている学際研究や産官学連携を謳う期間限定的な「プロジェクト研究所」も開設しています。外部研究資金と外部専門家を受け入れるオープンな仕組みはネットのバーチャルモールにも似ています。国経研などは正に対峙的な実店舗型のスタイルですが、それらは競合するものではなく競争的に研究を高め合っていくべきものでしょう。たとえば本学にはグローバル環境政策研究所(理学部・日野晶也所長)というプロジェクト研究所が発足していますが、扱うのは里山に始まり自然保護・回復、環境問題・政策に亙る独特な内容と広がりを持っています。国際経営研究所もグローバルで地域的(local)な問題解決への貢献を研究基本方針に据え、地域交流から国際問題研究まで広範囲に執り行っていますが、両研究所は位相も次元も異なる存在です。研究所そのもののスタイルの多様化は、研究に携わる者が空間的、時間的に様々な形で交差しあうという未来の姿を感じさせます。変わりつつある現代だからこそ、なお一層「わかってもらう」こと「伝える」ことが大事になってきます。

社会への貢献は所員の方々の研究成果によって行われますが、他方で様々な活動を伝え知ってもらうことは組織の存在意義を高めることに大いにつながるので、まさしくグローバルそしてローカルな方面に「伝える — 知る — つながる」べく当研究所のプロモーションを重要な業務の1つに据え、取り組んでいく考えです。研究所研究員、特別研究員の方々をはじめ所管事務部門である研究支援部をはじめとする関係スタッフにおかれては、諸般にわたるご協力をよろしくお願いいたします。(所長/なめかわ・いちろう)

国際経営研究所

主たる研究支援体制、活動状況について

本研究所は神奈川大学の研究に関する方針を踏まえ、地域密着型の経営ならびに国際的な経営をも視野に入れた研究推進を目指しています。経営を広域視点から総合的に研究することを基本方針として掲げており、特色ある地域に根ざした活動を展開しつつ、他方、研究員による意欲ある特徴的な国際研究を推進しています。

主たる内容概略は下記のとおりです。

共同研究プロジェクト

今年度 (2013 年度)

完成年度のプロジェクト

- ① 持続的発展可能な地域形成に関する総合研究

代表：照屋 行雄

- ② 企業リスクマネジメント

代表：菅野 正泰

継続研究のプロジェクト

- ① グローバル化社会に対応するレベル別大学英語教育ストラテジー研究

代表：白石 万紀子

- ② 近代社会の成立

代表：後藤 伸

- ③ 国境を超えた環境経営

代表：李 貞和

新規プロジェクト

4/3~4/30 に募集実施。決定後、ご案内します

昨年度 (2012 年度) に完成年度を迎えた下記のプロジェクトが、報告書をプロジェクトペーパーとして出版しました。

- ① 『サービスオリエンテッドなデザイン手法の研究』 2013. 3. 31 刊 代表：飯塚 重善
- ② 『イギリス中世からルネサンスおよび宗教改革期にかけての言語および文化の変遷』 2013. 3. 31 刊 代表：池田 明子

出版活動

今年度 (2013 年度)

現在、原稿募集中です

昨年度 (2012 年度)

『国際経営フォーラム』 No.23 2012. 7. 31 刊行

『マネジメントジャーナル』 No.5 2013. 3. 31 刊行

講演会、シンポジウム

今年度 (2013 年度)

現在、プログラムを計画中

詳細については次号でご案内します

昨年度 (2012 年度)

下記のシンポジウムが開催されました

- ① 日 時：2012 年 11 月 10 日 (土)

場 所：平塚商工会議所

テーマ：地域経営の推進力(エンジン)を指して-市民一人ひとりの役割-

- ② 日 時：2012 年 12 月 20 日 (木)

場 所：ひらつかキャンパス

テーマ：地域マネジメントの理念と手法

地域、社会との取り組み

今年度 (2013 年度)

現在、プログラムを計画中

詳細については次号以降でご案内します

昨年度 (2012 年度)

特別研究 全員参加型の地域経営を目指して
-草の根リーダーシップの醸造-

- ① 地域コンシェルジュ構想

- ② ジュニア構想

(小、中高生の提案、作文募集)

常任委員メンバー

研究所所長 行川 一郎

常任委員 菅野 正泰 泉水 英計、

広嶋 進、穂積 和子、

行本 勢基

文化が身近にある街 —サバティカルを過ごしたウィーンの思い出—

小澤 幸夫

1. 世界最大のブリュゲルのコレクションをはじめ、ティツィアーノやラファエロ、ベラスケス、レンブラント、ルーベンスなどの名画が目白押しの美術史博物館に行きました。

1年間有効のチケットを買いましたが、これがなんと29ユーロ！1回券が12ユーロだから日本では考えられない割引率です。

さらに驚いたことがありました。前に並んでいた年配のご婦人が

Kulturpass(カルチャーパス)というのを提示していたので、何かと訊ねたら、「これは月収700ユーロ以下というとても貧しい人のためのパスで、これを見せると無料になるのだ」と教えてくれました。

「とても貧しい人」と繰り返して言うので、「悪いことを訊いてしまったな」と反省しましたが、職業病なので仕方ありません。学生に教えるためにも本に載っていない情報を知っているのは大切なので「国が発行しているのか市が発行しているのか」とさらに訊ねると、「市が発行しているのだ」と教えてくれました。

最後に丁寧にお詫びをし、お礼を言いました。

2. Oper live am Platz (その場でライブオペラ) という催しがあったので行ってみました。

国立歌劇場の正面に向かって右側の広場、カラヤン広場の奥の歩行者天国になっている部分に椅子が並べられ、シートが敷かれています。オペラ座の壁に取り付けられた巨大なスクリーンに、中で行われている公演が生中継で映し出されています。入場料は無料なので、誰でも楽しめます。

隣の人は配役のリストを眺め、斜め前の人にはパンフレットを読んでいます。劇場の中と同様外でも全く同じものが売られているのです。

これが観光客向けというよりも、市民を対象としているのは明らかで、字幕もドイツ語のみでした。幕間には家族連れのお母さんが、父親と子供のためにセルフレストランでテイクアウトメニューを買ってくる微笑ましい姿も見られました。

素晴らしいアリアの後ではここでも惜しみない拍手が鳴り響きます。

野外の歩行者天国で放映しているので目の前を観光客が通り過ぎたり、スケートボードをしてい

る若者が通ったり、はてはバイクの騒音などが聞こえることもありましたが、これはご愛嬌で、ほとんどの人が最後まで観ていました。

サッカーファンが集まって一緒にテレビで観戦をする店が日本でもありますが、感動を共有したいという気持ちは誰にでもあります。家で一人、DVDを観るのとは全く違った感じがしました。

これは毎日行われているのではなく、有名な歌手が出演し、入場券が手に入りにくい時に行われるようです。会場にも国立オペラ座のプログラムにも次の公演予定が記されていました。

このような形で誰でもオペラが楽しめるのは何とも羨ましい限りです。

研究余滴



3. 街角で斜めに傾いた奇妙なショーケースを見ました。これは“offner Bücherschrank“ (公共の本棚) (次頁)と呼ばれるもので、誰でも自由に不要になった本を持ち込み、そこにある本を持ってい

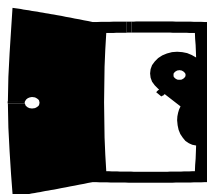
くことができます。中を覗くと通俗小説や実用書の他に、歴史やドイツの古典、さらに英語の本までありました。

たまたま通りかかった管理者に訊ねたところ、ウィーンには他に2箇所あり、市当局は関知せず有志で運営しているとのこと。ケースはマルチメディアアーティスト、ヘルマン・ニッチュがデザインしたもので、傾いているのは開け閉めの際、自動的に閉まるようにとのことでした。

日本では古本チェーン店がありますが、売りに行ってもガソリン代にもならない価格で買い取られるので、結局捨ててしまうことが多いです。

このようなものが街角にあれば、図書館まで足を運ぶ必要もありません。気軽に本が楽しめる素晴らしいアイデアだと感心した次第です。

(所員/おざわ・ゆきお)



今号から、経済や経営に関することや雑報を「窓」と題して掲載します。情報等ございましたら開示させていただきます。ご協力を、お願いいたします。

窓

♪♪♪♪♪ ようこそ ♪♪♪♪♪

☆一般財団法人 ゆうちょ財団 研究助成募集

当研究所、菅野正泰常任委員(経営学部准教授)が審査委員を務めています。

1. 研究対象分野

郵便貯金をはじめとする個人金融ならびに資産の運用およびその市場に関する調査研究

2. 助成対象者

研究内容が他機関の助成を受けているもの、過去3年間に対象となったものは不可となります。新進の研究者の応募を期待しています。

3. 助成金額

総額 300 万以内、5 件程度

4. 研究対象期間

2013 年 8 月から 2014 年 7 月

5. 受付 2013 年 4 月 1 日～5 月 31 日

6. 送付先 hir-muro@yu-cho-f.jp

詳細は、ゆうちょ財団 HP をご覧ください。

☆2013 年度 新任の先生紹介

| | | |
|-------|--------------|--------------------|
| 准教授 | 河内智子 | 英語教育 |
| 准教授 | 湯川恵子 | 管理組織論 経営管理論・経営学 |
| 特任教授 | 杉田弘也 | 国際地域論・国際関係論 |
| 特任准教授 | 山岡義卓 | 経営学・国際経営論 |
| 特任助教 | セロン・フェアチャイルド | English Literature |

編集後記 =====

研究所所長が行川一郎教授に代わりましたので、冒頭エッセイを執筆しました。

また、昨年一年間、小澤幸夫教授はサバティカルでウィーンに滞在しました。その時経験した、観光ガイドに載らない街の様子を報告していただきました(今号はカラー版です)。H

=====